



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 武部 一弘 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,797	3.3	159	72.5	155	83.0	73	11.3
2019年3月期第2四半期	2,706	△2.1	92	△48.2	85	△49.1	66	△47.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △12百万円 (－%) 2019年3月期第2四半期 30百万円 (△83.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	49.73	—
2019年3月期第2四半期	44.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	22,833	11,012	48.2	7,403.15
2019年3月期	23,279	11,025	47.3	7,411.35

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,000百万円 2019年3月期 11,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	7.4	250	242.5	240	263.6	180	74.8	121.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	1,500,000株	2019年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	14,035株	2019年3月期	13,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	1,486,032株	2019年3月期2Q	1,486,094株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取組むことで運転無事故を継続しており、営業活動においては収益拡大への取組みを行ってまいりました。とりわけ、当事業年度は改元の年にあたることに加え当社も創立120周年を迎えることから、それらに因む各種イベント等を行うことでお客様にお楽しみいただき、併せて事業収益の拡大につなげられるよう、積極的な取組みを行いました。また、沿線の市町、商業施設、同業他社等とも連携した誘客活動も引き続き実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は2,797百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は159百万円(同72.5%増)、経常利益は155百万円(同83.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円(同11.3%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

旅客部門におきましては、改元や創立120周年を記念したSL列車(「ありがとう平成号」「おめでとう令和号」「創立120周年記念酒号」)の他、沿線地域や異業種とも連携した多くの企画列車の運行を行うとともに、「わくわく鉄道フェスタ」をはじめとするさまざまなイベントを開催し、旅客誘致に努めました。また、記念乗車券・入場券の他、同業他社等とのコラボレーションによる企画乗車券などを発売いたしました。これらの取組みの他、大型連休やラグビーワールドカップの熊谷開催の効果なども寄与し、定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前年同期に比べ増加いたしました。

定期旅客人員及び定期旅客収入は消費税率改定に伴う駆け込み購入等もあり、前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門におきましては、輸送量が微増となった他、昨年10月1日に実施した基本賃率引上げの効果もあり、貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、経費の削減に努めましたが、人件費の増加の他、電力料金単価の値上がりの影響などにより、前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は1,835百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は40百万円(前年同期は38百万円の営業損失)となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、請負工事が順調に推移した他、駐車場の拡充等により賃貸収入も前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は195百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は104百万円(同0.4%増)となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、旅行会社への営業活動や各施設でのイベント開催など旅客誘致に注力いたしました。また、長瀨駅前に豚みそ井専門店「有隣」を7月に開店するなど新たな増収施策への取組みを行ったものの、長瀨ラインくたりをはじめとする各事業が天候不順の影響を大きく受けたことから、営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は252百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益は10百万円(同71.1%減)となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、ラグビーワールドカップ関連の特需もあり、営業収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、修繕費の増加等もありましたが、その他の経費の削減に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は198百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は0百万円(前年同期は7百万円の営業損失)となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、昨年9月にタクシー事業を終了したことによる減収もありましたが、熊谷駅南口のコンビニエンスストアが堅調に推移し、営業収入は前年同期に比べわずかな減少にとどまりました。

この結果、営業収益は514百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は0百万円(前年同期は11百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ445百万円減少し22,833百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ319百万円減少し1,297百万円、固定資産は126百万円減少し21,536百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金並びにその他に含まれる補助金等の未収金がそれぞれ減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、その他有価証券の評価額が減少したほか固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ432百万円減少し11,821百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ263百万円減少し3,353百万円、固定負債は169百万円減少し8,467百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、短期借入金及び1年以内返済予定の長期借入金、その他に含まれる設備未払金がそれぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金及び退職給付に係る負債がそれぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し11,012百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上的一方、その他有価証券評価差額金及び退職給付に係る調整累計額がそれぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2019年5月15日に公表しました数値から変更し、営業収益5,600百万円(前回予想比0%)、営業利益250百万円(同13.8%減)、経常利益240百万円(同14.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益180百万円(同21.7%減)といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	827,392	709,073
受取手形及び売掛金	317,399	257,372
分譲土地建物	107,356	103,732
商品及び製品	27,524	32,526
原材料及び貯蔵品	136,872	142,430
その他	204,331	56,468
貸倒引当金	△4,418	△4,500
流動資産合計	1,616,458	1,297,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,191,447	14,265,123
減価償却累計額	△9,816,733	△9,855,171
建物及び構築物（純額）	4,374,713	4,409,952
機械装置及び運搬具	5,107,910	5,129,123
減価償却累計額	△4,449,798	△4,527,642
機械装置及び運搬具（純額）	658,112	601,480
土地	15,870,839	15,893,518
その他	707,951	711,993
減価償却累計額	△618,163	△629,882
その他（純額）	89,788	82,111
有形固定資産合計	20,993,453	20,987,062
無形固定資産	27,521	20,750
投資その他の資産		
投資有価証券	593,350	476,730
繰延税金資産	21,751	25,115
その他	48,808	48,998
貸倒引当金	△22,019	△22,009
投資その他の資産合計	641,891	528,833
固定資産合計	21,662,866	21,536,646
資産合計	23,279,324	22,833,751

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,893	231,479
短期借入金	1,159,000	1,131,000
1年内返済予定の長期借入金	1,073,683	980,157
未払法人税等	29,756	42,964
未払消費税等	52,263	68,420
賞与引当金	193,289	197,792
その他	947,590	702,135
流動負債合計	3,617,476	3,353,950
固定負債		
長期借入金	2,108,636	1,991,594
繰延税金負債	11,168	7,392
再評価に係る繰延税金負債	4,554,262	4,554,262
退職給付に係る負債	1,672,809	1,617,781
特別修繕引当金	145,600	156,000
長期預り金	95,761	91,957
その他	48,371	48,371
固定負債合計	8,636,608	8,467,358
負債合計	12,254,085	11,821,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,952	21,952
利益剰余金	△90,729	△16,829
自己株式	△30,593	△30,782
株主資本合計	650,629	724,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361,621	280,826
土地再評価差額金	9,983,917	9,983,917
退職給付に係る調整累計額	17,406	11,736
その他の包括利益累計額合計	10,362,945	10,276,480
非支配株主持分	11,664	11,621
純資産合計	11,025,239	11,012,441
負債純資産合計	23,279,324	22,833,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	2,706,992	2,797,527
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	1,944,040	1,937,544
販売費及び一般管理費	670,656	700,756
営業費合計	2,614,697	2,638,301
営業利益	92,294	159,225
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	4,839	4,852
土地物件貸付料	12,660	9,385
その他	4,115	6,292
営業外収益合計	21,624	20,538
営業外費用		
支払利息	17,210	15,028
減価償却費	8,190	8,190
その他	3,441	830
営業外費用合計	28,842	24,049
経常利益	85,076	155,714
特別利益		
固定資産売却益	1,135	2,589
補助金	300	—
特別利益合計	1,435	2,589
特別損失		
固定資産売却損	—	46
固定資産除却及び撤去費	—	13,864
減損損失	—	7,919
特別損失合計	—	21,830
税金等調整前四半期純利益	86,512	136,473
法人税、住民税及び事業税	19,846	33,932
法人税等調整額	256	28,648
法人税等合計	20,103	62,580
四半期純利益	66,409	73,893
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	34	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,374	73,900

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	66,409	73,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,119	△80,831
退職給付に係る調整額	△5,378	△5,669
その他の包括利益合計	△35,497	△86,501
四半期包括利益	30,911	△12,608
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,890	△12,564
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,744,519	181,869	264,692	195,050	2,386,132	320,859	2,706,992	—	2,706,992
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,544	3,612	530	366	9,052	198,104	207,157	△207,157	—
計	1,749,064	185,481	265,222	195,416	2,395,185	518,964	2,914,149	△207,157	2,706,992
セグメント 利益又は損 失(△)	△38,354	103,919	36,897	△7,261	95,201	△11,341	83,860	8,434	92,294

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額8,434千円には、固定資産未実現損益の消去額904千円、セグメント間取引消去7,530千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,831,010	192,381	252,313	198,862	2,474,567	322,959	2,797,527	—	2,797,527
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,803	3,612	624	—	9,039	191,999	201,038	△201,038	—
計	1,835,813	195,993	252,937	198,862	2,483,607	514,958	2,998,565	△201,038	2,797,527
セグメント 利益	40,217	104,294	10,654	408	155,575	330	155,906	3,319	159,225

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気
工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,319千円には、固定資産未実現損益の消去額1,025千円、セグメント間取引消
去2,293千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率(%)
旅 客 人 員	定 期	千 人	2,704	2,672	1.2
	定 期 外	〃	1,542	1,528	0.9
	計	〃	4,247	4,201	1.1
貨 物 ト ン 数		千トン	1,023	1,017	0.5
旅 客 収 入	定 期	百万円	375	372	0.9
	定 期 外	〃	629	624	0.8
	計	〃	1,005	997	0.8
貨 物 収 入		〃	699	632	10.7